

令和7年度試験問題
後 期 日 程
学校教育教員養成課程
教科教育専攻

専 修 名	科 目 等	ペ ー ジ
保 健 体 育 専 修	小 論 文	P. 1 ~ P. 2

注 意

1. 問題冊子及び解答用紙は指示があるまで開かないこと。
2. すべての解答用紙の※印のついた箇所に受験番号を記入すること。(合計点欄に記入してはいけない。)
3. ページ数に間違いがないかよく調べること。
4. 下書用紙を利用することは差しつかえないが、答えはすべて解答用紙に記入すること。
5. 試験終了後、問題冊子及び下書用紙は持ち帰ること。

下記の文章は、世界保健機関（WHO）の勧告を踏まえた「生徒の健康とウェルビーイングを増進するための保健教育」に関して書かれたものである。文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

生徒の健康とウェルビーイングを増進するための保健教育：

WHOの勧告

WHOが2008年に示した勧告によると、学校保健教育の目的は、生徒が十分な情報を得た上で意思決定を行い、健康的な行動を実践し、健康を促進する条件を整えるために必要な知識と技能を身に付けることである、としている。学校保健教育は、国のニーズや利用できるリソースを踏まえて様々な方法で実施されている。

保健教育は、特定の科目として、あるいは科学*¹、家庭科、数学、農業など他の科目の一部として、あるいは理想的にはその両方の組み合わせとして指導されている。

食事と身体活動に焦点を当てつつ、保健教育では以下の方針が必要とされている。

- 良い食事、身体活動、健康、これらの関係について、知識と技能を提供し、態度を養うことを支援する。
- 食品を安全に調理し、消費することは、人生において必要不可欠で、肯定的かつ楽しい側面であることを伝える。
- 食事や運動に関する意思決定など、重要なスキルを実践する機会を提供する。
- 生徒が、体を動かすことや健康的な食品を選択する上での障害を特定するだけでなく、これらの障害を克服するための解決策も特定できるようにする。
- 特に食品とノンアルコール飲料に関するメディアとマーケティングのリテラシー*²を生徒に提供する。
- 生徒たちに健康についてのメッセージを効果的に伝えるために必要な知識と技能を備え、十分に養成された教師が必要である。

出典 『保健体育教育の未来をつくる－OECDカリキュラム国際調査〈OECD Education 2030プロジェクト〉』経済協力開発機構（OECD）編著，日本体育科教育学会 監訳，p.36-37：明石書店 一部改変

* 1 英語原文（OECD, 2019「Making Physical Education Dynamic and Inclusive for 2030, International Curriculum Analysis」, p.21）においては「science」の単語が用いられている。我が国の高等学校及び中学校において「science」の表記が用いられる教科は「理科」であり，我が国の教科としては理科に該当すると考えられる。

* 2 「リテラシー」とは，「[literacy] 読み書きの能力。識字。転じて，ある分野に関する知識・能力。」（広辞苑第七版，p.3080）と示される。

問 1－1. 左記の文章の内容について，概要を200字程度でまとめなさい。

問 1－2. 現在の子供（児童生徒）の健康に関する課題を1つ取り上げて説明するとともに，左記の文章の内容を踏まえて児童生徒の健康とウェルビーイングを増進するために学校現場において具体的にどのような保健授業が求められるか，あなたの考えを400字以上500字以内で述べなさい。